

2017 夏号

vol.29

今津赤十字病院広報誌

# 今津日赤だより



表紙写真 「雨上がりの紫陽花」

## 基本理念

私たちは人道・博愛の赤十字精神のもと患者様に信頼される医療を行います。

## 基本方針

1. 地域医療  
地域の皆様から安心して健康を任される病院を目指します。
2. 全人的医療  
病気を治すだけでなく、病める人を癒す全人的医療を提供します。
3. 医療と福祉の架け橋  
医療が終わった後も、その方に適した生活を送っていただくためのお手伝いをする医療福祉センターを目指します。

## TOPICS

事務部長就任挨拶	1
新任・新入職員紹介	2
行動制限最小化委員	3・4
おくすりcafe	5
神経内科医による 専門外来はじめました	6
食事量が減っていますか?	6



日本赤十字社

今津赤十字病院

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

# 事務部長就任挨拶



事務部長  
やま ぐち ひで お  
**山口秀夫**

このたび、今津赤十字病院事務部長に就任しました山口です。就任にあたり本院の状況について、ご報告させていただきます。昨年は熊本を襲った地震災害において、当院から熊本赤十字病院を拠点に救護班並びに看護師の応援に職員を派遣し救護活動にあたりました。赤十字病院の理念は、災害医療・救急医療・地域医療の面から、地域に貢献することを通じて、赤十字の理念の実践や赤十字思想の普及啓発に努めてまいります。

尚、本院における病院理念は、

## ● 地域医療

地域の皆様から安心して健康を任される病院を目指します。

## ● 全人的医療

病気を治すだけでなく、病める人を癒す全人的医療を提供します。

## ● 医療と福祉の架け橋

医療が終わった後も、その方に適した生活を送っていただくためのお手伝いをする医療福祉センターを目指します。

を基本方針に掲げております。

近年の医療は、機能分化がますます進む中、将来的には高度急性期病院と多機能型地域病院の2つに大別されると予想され、その中で本院は地域包括ケア病床・障害者病床・認知症病床・療養(医療・介護)病床を有する多機能型地域病院として地域の医療・介護・福祉との連携並びに安全・安心な医療提供体制の充実を図り、地域に信頼される病院づくりを目指してまいります。

# 新任・新入職員紹介

看護副部長

しら き じゅん こ  
白木潤子



はじめまして。このたび、看護副部長に就任いたしました白木潤子と申します。今津赤十字病院で働き始めて17年を迎えました。美しい海と山の緑に囲まれたこの病院で働くことを日々嬉しく感じています。

さて、日本はいまだかつてない少子高齢化の進行に伴い、社会の諸制度が大きく変化しています。そのため、医療や介護サービスも複雑さを増し、適切にサービス利用に繋がっていない方もおられます。私たち看護師は、患者様やご家族に寄り添い、気軽に何でも話していただける存在になり、安心していただけるケアの提供ができるよう努力してまいりたいと思います。

このような役割を担うことに、力不足だと思いますが、皆様方のご意見を参考に、探求とチャレンジを重ね、日々成長していきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



内科医師

もり さ ほ  
森 佐 保

森佐保と申します。脳卒中を学んだあと、3年前まで今津赤十字病院でお世話になり、大阪でリハビリテーションの勉強をして戻って参りました。覚えて下さっている患者様が温かく声をかけて下さり、大変嬉しく感じております。地域の方に貢献できるように頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

内科医師

かわ もと ゆ き  
川本夕季



はじめまして。内科の川本と申します。専門は高血圧内科です。ここ2年半は外来のみでしたので、今年度から久しぶりの病棟受け持ちになります。現在2歳半の長男、半年の次男の子育て中でもあります。3月まで育休中でのんびり過ごしていたため、4月は子供の送り迎えに慣れるのと、仕事の感覚を取り戻すので精一杯でした。早速、スタッフの方々に助けられることが、多々あり、感謝しております。一方、久しぶりの仕事に喜びも感じております。どうぞよろしくお願ひいたします。



精神科医師

ふじ い こう へい  
藤井 康平

はじめまして。藤井康平と申します。九州大学を卒業後、秋田県能代市で2年間初期臨床研修を行い、今年度から今津赤十字病院でお世話になっています。精神科1年目ということで慣れないことも多く、スタッフの方々にご迷惑おかけすることも多いとは存じますが、精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

# 行動制限最小化委員会

## 行動制限最小化委員会とは

行動の制限（隔離や拘束）については、精神保健福祉法第36条に定められ、詳細については厚生労働省の定める処遇の基準として定められています。2004年に精神科を有する医療機関に対して行動制限最小化委員会の設置が義務化され当院にも委員会が発足しました。

## 意義

医療において、患者様本人及び周囲の安全確保のため身体拘束などの行動制限をせざるを得ないことがあります。代替手段がない場面で必要最小限行うことが原則ですが、私たち医療者は常に本当にこれでいいのかと自問自答しながら、患者様の人権と医療安全を比較衡量し慎重に判断します。

実施の際は、本人の人権保護のため精神保健福祉法に則り、厳密な手続きが求められます。その一環として当委員会の設置があります。多業種職員が定期的に行動制限の必要性を評価し、行動制限の解除に取り組みます。

精神科部長・精神保健指定医 勝治 一夫

## 活動

精神科病棟に関わる多職種が月に1度集まり行動制限の状況の妥当性及び最小化（可能な限り隔離や拘束を解くこと）について検証・検討する委員会です。活動の一環として、年に2回の学習会が義務付けられており、1回目は法律、2回目は実践報告と決められています。（開催日：毎月最終金曜日9:00～10:00）

## スタッフ紹介

Staff introduction



※毎回多職種の参加あり



精神保健指定医 勝治Dr.



精神科医師 藤井Dr.



白木看護副部長



熊精神保健福祉士



平尾看護師



高野ケアワーカー



木村理学療法士



川崎作業療法士

## 行動制限の種類

隔離と身体拘束に分けられます。

### 隔離とは

保護室、個室、多床室に1名を入室させ施錠することによる行動の制限である

隔離対象者…不穏、興奮、多動、徘徊、危険行動など精神症状が著明な患者様

### 身体拘束とは

医療的な配慮がなされた拘束用具により体幹や四肢の一部あるいは全部を種々の程度に拘束する行動の制限である（精神保健福祉法より）

身体拘束の種類…体幹抑制、胴抑制、上下肢抑制、安全ベルト、車椅子二重固定

# 現状

## 看護師の目線

当院2病棟は認知症の方が多数を占め、高齢で危険認知力低下があり安全への配慮や治療上、やむを得ず行動制限を実施するケースも少なくないのが現状です。

行動制限は患者様の自由を制限するものであり、看護の質向上とQOL（クオリティ・オブ・ライフ：物理的な豊かさやサービスの量、個々の身辺自立だけでなく、精神面を含めた生活全体の豊かさと自己実現を含めた概念）の増進を目指し最小化に努めていく必要があります。医療チームが一丸となった関りが、行動制限最小化には必要であり、情報の共有が鍵となります。

隔離、身体拘束の必要性の評価と合わせて拘束解除に向けて、日々取り組んでいます。

## リハビリテーションスタッフの目線

関わり方は大きく分けて2つあります。

### 1: 対象患者様の身体機能面、精神機能面を観察し検査・評価することです

院内デイケア活動時、病棟内での過ごし方を観察し、記録していきます。「椅子などから立ち上がってすぐにこけるのか」、「安全に移動できるのか」、「椅子などからの立ち上がりの理由は何なのか」等の転倒リスクを評価します。どこに問題があるのか、改善策を検討します。

### 2: それらの情報を多職種のスタッフと共有し、より良い生活の場を提供すべく リハビリテーションを実施し、退院に向けて支援していくことです。

入院生活においてもよりよい生活の場を提供する事が大切です。これは、今後の退院先への環境にも大きく反映されると考えられます。院内デイケアでは、デイサービスやデイケア施設の環境を想定して過ごします。一人一人の今後の生活環境を想定し、「安全ベルトなしで過ごす事ができるか」、「見守りがあれば安全に過ごせるか」等と多職種に情報提供します。それに見合った環境を整えつつ、リハビリテーションを実施し、生活の場である自宅や地域への退院支援へと繋げていきます。

## フローチャート（身体拘束ベルト編）



※隔離・拘束が継続されると、次の月に繰り越される

# おくすりcafe

調剤課長  
よし はら あつ ふみ  
吉原敦史

こんにちは 今津赤十字病院 薬剤部です。

現代の医療技術は目覚ましい発展を遂げて、今や癌でさえ、進んだ技術で早期に発見し、最適な薬剤を使用することにより不治の病とは言えなくなっています。しかし、薬が悪影響を及ぼしたり効果がなかったりすることもあるため注意が必要です。

当院薬剤部では、患者様の薬の悪影響を排除し、健康な生活が送れるよう努力しています。そのためには患者様のおくすり手帳持参の協力も必要です。

## おくすり手帳(おくすりノート)について

おくすり手帳にはアレルギー歴、副作用歴を記載する欄があります。もある場合、必ず記載して下さい。医師や薬剤師に伝えて記載してもらってもかまいません。そして新しいお薬が処方される場合、医師や薬剤師に服用しても大丈夫かお尋ねください。おくすり手帳をまだ持っておられない方は、薬剤部の窓口で申し出でれば無料でお渡し致します。また診察を受けられる際は必ず医師におくすり手帳を提出してください。

どうしてそのようなお願いをするのかといいますと、アレルギーや重篤な副作用の発現したことのある薬剤を再度服用しては決していけないからです。さらに重症化した症状が発現する可能性があります。皆様のご健康を薬の悪影響からお守りするためにご協力をよろしくお願いいたします。



よくある質問

## おくすりQ&A

Q

A

**Q.** 以前もらった治療薬を医師から中止の指示が出て服用を止めていたけど、また症状が発現したので服用してもいいの？

A.

正確な医師の診断のないお薬と認識していただき、服用しないでください。もし服用して重篤な副作用が発現した場合、医薬品等副作用被害救済制度という公的な保障が受けられません。再び医師の診断を受けて処方されたお薬を服用してください。



オーダリングシステムを導入し患者様をお待たせしないよう  
薬剤部スタッフ一同努力しておりますので  
今後ともよろしくお願いいたします。

•薬剤部スタッフ•

# 神経内科医による専門外来はじめました

平成29年4月より、福岡大学病院神経内科との連携により、神経内科専門医が、毎週水曜日(午前のみ)に専門外来を行います。受診には、事前の予約が必要となりますのでよろしくお願ひいたします。

予 約  
問い合わせ

今津赤十字病院

外来看護師まで

TEL:092-806-2111(代表)

よこ て  
神経内科 横手 あきら  
顕 先生



平成29年4月1日より第2、4週の水曜日の午前に今津赤十字病院にて勤務させて頂くことになりました横手 顕と申します。

熊本県出身で、福岡大学医学部を卒業後、九州医療センターで初期臨床研修を行い、福岡大学病院神経内科に入局しました。同大学病院、福西会病院、宇多野病院で勤務しておりました。

神経内科疾患を中心に、地域の先生方、患者さんのお役に立てるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

出身大学:福岡大学  
専門分野:神経内科一般、変性疾患、認知症  
所属学会等:日本内科学会(認定医)、日本神経学会(専門医)、日本認知症学会、日本神経治療学会

お ぐら ひろ む  
神経内科 小倉 玄睦 先生



福岡大学病院神経内科、小倉 玄睦と申します。

現在、大学院に所属しており、明確な研究のテーマは決まっておりませんが、変性疾患に興味があります。

神経変性疾患は難病に指定されているものが多く、診断、治療はもちろんのこと、リハビリテーションやADLなど家庭でのサポートが重要になってきます。その上で、地域連携が重要であり、自分も微力ではありますがその手助けができればと思います。

どうぞよろしくお願ひいたします。

出身大学:福岡大学

食事量が減っていますか?  
足りていますか?

こんな人はご用心

- がんや胃腸疾患などの治療・手術後の人
- 糖尿病や腎臓病などで食事療法をしている人
- 油脂や卵を控えている人、粗食の人
- 高齢者だけの一人暮らし、二人暮らし
- 食べ物の好き嫌いが多い人

「今どき栄養失調なんて…」  
と思っていませんか?

おお にし れい こ  
栄養係長 大西玲子



高齢になると若い頃よりも筋肉や骨や水分が減り体力も落ちてくるため、いろいろな症状が起きやすくなります。それらが重なってさらに食べる力が失われ、寝たきりや死に至る危険も高くなります。

当院では、栄養スクリーニングチェックができます。また、食べる機能・飲み込む機能のチェックもできます。その結果により、管理栄養士がアドバイスさせていただいています。気になる方は、外来スタッフまでお声かけください。

## 診療案内

- \* 診療科目 内科・精神科(認知症)・神経内科・胃腸科・循環器科・リハビリテーション科・放射線科
- \* 受付時間 (月曜日～金曜日)午前8時30分～午前12時00分及び午後1時30分～午後4時30分
- \* 休診日 土曜・日曜・祝日、年末年始(12月29日～1月3日)、日本赤十字社創立記念日(5月1日)  
※ご不明な点がございましたら、お気軽に病院までお問い合わせください。

### 今津赤十字病院 外来診療担当表

平成29年4月1日から

診療科目		月	火	水	木	金	土	日
内科	午前	初診	森・川本	森 佐保	富田 祐亮	品川 有里	川本 夕季	
		再診	尾前 豪	藤井 弘二	福大神経内科	藤井 弘二 (生活習慣病)	藤井 弘二	
					尾前 豪	川本 夕季	森 佐保	
					古瀬 正徳			
午後(初診及び再診)		古瀬 正徳	川本 夕季	富田 祐亮	品川 有里	尾前・古瀬		
精神科 (認知症外来)	午前	(予約制) 初診		応相談			桑野 信貴	
		再診	田中 和宏	藤井 康平	勝治 一夫	勝治 一夫	古賀 勝治	
	午後 初診(予約制)	勝治 一夫	勝治 一夫	勝治 一夫	勝治 一夫	勝治 一夫	勝治 一夫	
		藤井 康平		藤井 康平		藤井 康平		
				畠部 暢三		古賀 勝治		

### 病院へのアクセス



#### JRでのアクセス

\* JR九大学研都市駅下車の場合

JR九大学研都市駅南口前より病院無料送迎バスをご利用ください。

(下記時刻表を参照ください)

\* JR今宿駅下車の場合

昭和バス「今宿駅前」バス停より、「西の浦行き」乗車、「日赤入口」バス停下車、徒歩約10分

#### お車でのアクセス

西九州自動車道今宿ICより約10分



#### 無料送迎バスのご案内

JR九大学研都市駅南口前より、無料送迎バスを運行しておりますので、お気軽にご利用ください。

便	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便	第6便	第7便	第8便	第9便	第10便
病院→JR九大学研都市駅南口前	8:55	9:35	10:15	10:55	11:35	12:15	12:55	13:35	14:15	14:45
JR九大学研都市駅南口前→病院	9:15	9:55	10:35	11:15	11:55	12:35	13:15	13:55	14:35	15:00
運行日	平日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	土日祝祭日	—	○	○	○	—	—	—	○	—

※平成27年2月1日改正